

テーマ：子どもの主体的な学びを支えるコミュニティ

～子どもから学ぶプロセスを探究する～

zoneAではこれまで「21世紀の学びを実践するコミュニティ」をテーマとして掲げ、子どもの学びのプロセスを大事にしながら活動を展開していくことについて考えてきました。「主体的・対話的で深い学び」と同時に「チーム学校」「こどもまんなか社会」「co-agency」といったことが提起されてきたように、今、子どもたちが主体的に学びを深めていくために、学校や園、そして地域が子どもたちを支えていくことが求められています。そのためには、子どもの声や姿を真摯にとらえて、子どもから学ぶプロセスを探究し、時に自分を変えようとする大人の姿勢が必要不可欠です。私たちは、そうした子どもとともに、あるいは子どもから学ぶ場を、どう組織していけばよいのでしょうか。

前回のシンポジウムでは、子どもたちと教師が一体となって取り組んだ学級総合や、遊びの中で確かな学びを培っていく子どもたちと、それを支える保育士集団の姿が語られました。その中で、私たちは自身の「授業づくり観」を変える必要性を痛感しました。これまで「教える専門家」であった教師は「学びを組織する専門家」を目指していく必要があることをあらためて感じるとともに、子どもたちとともに学ぶために、教師は何をどこまで支援すべきか、組織すべきかといった新たな課題も見えてきました。

今回のシンポジウムでは、さまざまなアプローチで子どもたちに向き合うことで、実践の改善を試みてきたこども園と中学校の取り組みを語っていただきます。こども園の実践では、子どもたちの思いを引き出し、保育者同士が省察を重ねながら活動を展開していったプロセスを、また中学校の実践では、授業研究会の場に生徒にも参画してもらい、学校での学びを教師と生徒で共に創っていくプロセスを報告していただきます。幼児教育から高等教育まで一貫して重要とされている「主体的な学び」を、子どもとの関係の中でどのようにして組織していくことができるのか。今回は「子どもから学ぶプロセス」を視点にして、参加者の皆様と一緒に探っていきたいと思えます。

Connection	8:30-9:00	オンライン接続
Orientation	9:00-9:10	オリエンテーション
Session I	9:10-12:10	
Symposium	「子どもの主体的な学びを支えるコミュニティ」 ～子どもから学ぶプロセスを探究する～	

<シンポジウム>

<シンポジスト>

9:10-9:40	愛慈福祉会	きたこども園	保育教諭	水谷 友梨
9:40-10:10	福井大学附属義務教育学校		教諭	河合 創

<全体討議>

10:10-10:45

<コメンテーター>	福井県教育庁高校教育課	参事	
	(兼 福井大学教職大学院客員准教授)	渡邊 久暢	

私たちは、「主体的な学び」を子どもとの相互作用を通してどのように組織していくことができるのか、話題提供をふまえて皆様とともに探っていきます。

<休憩> 10:45-11:00

Session II 11:00-12:10 Cross-session(Breakout Room)

Session I の議論に基づき、参加者それぞれの学校づくりの長い実践を共有し、新たな出会いと協働を編み込んでいきます。校種等をクロスした小グループ形式での対話を編み込み、実践をデザインし、展望を生み出します。